

科目名	保育内容（言葉）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	1	後期			
担当者名	久保 朱美		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> 言葉の機能、子どもの発達と言語の獲得、言葉の発達の条件と環境、言葉の問題のある子どもへの援助の仕方などについて理解する。 幼稚園教育要領や保育所保育指針に示されている「言葉」の領域について学ぶ。 							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 「言葉」についての基礎知識を広く習得し、加えて現代社会における言語教育の課題、そして子どもの言語獲得と「時」の重要性、保育者の使う言葉の影響の大きさに理解を深める。 児童文化財の中から日常保育に取り入れられる素材を選択し、実演することで、基本的な言語機能を身につける。 			成績評価方法 定期試験、小テスト、受講態度、発表による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習				○	○		20
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 保育の基本と領域「言葉」				授業レポート・課題			
2) 領域「言葉」の内容とねらい				小テスト・個人ワーク			
3) 児童文化財としての絵本・紙芝居・ストーリーテリング 意味と演習方法				小テスト・個人ワーク			

4) 言葉の獲得 伝える・考える・コミュニケーションから見る	小テスト・個人ワーク
5) 言葉の発達と特徴	小テスト・個人ワーク
6) 保育者の役割と援助	小テスト・個人ワーク
7) 言葉が育つ環境	小テスト・個人ワーク
8) 豊かな言葉の世界とは	小テスト・個人ワーク
9) 人とつながる言葉	小テスト・個人ワーク
10) 文字との出会い 文字のはたらき・便利さに気づく	小テスト・個人ワーク
11) ことばがはじまりの頃の赤ちゃん	小テスト・個人ワーク
12) 遊びと言葉の発達	小テスト・個人ワーク
13) 言葉の問題と援助・配慮	小テスト・個人ワーク
14) 保育者の専門性と言葉	小テスト・個人ワーク
15) 領域「言葉」の指導のこれから	小テスト・個人ワーク
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業終了時、毎回小テストがありますので、テキストの予習・復習をしてください。 ・個人ワークは、事前に練習して臨んでください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保育内容 言葉」秋田喜代美・野口隆子編著（光生館） 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、 その他の資料を適宜配布	教育・保育課程論、保育内容 (人間関係・環境・表現・健康)
備考	
積極的な受講態度を望む	